

## 世阿弥の「初心」と大臣柱

常任理事 上田彰一郎

演劇に対する興味を最初に植えつけてもらったのは、能からであった。能役者の世阿弥という  
とまず「初心忘るべからず」ですが、これは本来「初心者の未熟さの自覚」のことで、現代でい  
えばマイカーに貼る「若葉マーク」に相当する意味でした。「役者」「劇団」「統率者」としてのそ  
れぞれの立場から、つねに自己満足を排し、時代の現実の中での客観を確立するのが、世阿弥の  
「初心忘るべからず」の自他への教訓でした。

世阿弥時代の芸能市場は、厳しい競争原理で動いていました。活気あふれる能の創成期であつた  
その時代は、また、気を許せばすぐに脱落する、冷静な「現実」の支配する時代でもありまし  
た。勝ち残るために能の劇団は、沈着な判断を求められ、世阿弥は必死にそれを実践しました。  
そしてその時々の「決算報告書」が『伝書』という形で、いまわれわれの前に残されたのです。  
そこが中世の芸能者のものとは思えない論理の展開と、内面的迫力を生んだ原因となったのでし  
ょう。

その世阿弥の演劇論を、現代人の立場で読みたいと思います。そして「演劇」とはもちろん、  
すべての人の人生であり、「劇団」とは、我々が何らかの形で属している、「組織」そのものでは  
ありませんか。それでは、我々が属している「組織」論で、能舞台の大臣柱について考えてみま  
しょう。

四隅よすみに立ってその屋根を支えている四本の柱は、演技と関連してそれぞれの役目を持ち、それ  
に因んだ名称が与えられています。橋掛から入ってとつきの柱は、シテがあらたまつて舞など  
を始める時の常座がその傍にあるのでシテ柱と名づけられ、大事な柱とされています。その柱か  
ら見所に向かって真っすぐに前へでるとぶつかる柱は、シテが舞を舞う時に目標となるので目附  
柱と呼ばれ、これも大事な柱とされています。正面見所から見て目附柱と並んで舞台先の右の隅  
に立つ柱（シテ柱の対角線上にある柱）は、ワキが用事が済むとその傍に行つて坐ってしまうの  
でワキ柱といわれるが、ワキは脇能物では大臣となつて登場することが多いのでまた大臣柱とも  
いわれる。これは用途の上からは比較的無能な柱である。今一つ、目附柱の対角線上にあつて正  
面見所から見て大臣柱の奥たまきに隠れている柱は、その近くに笛座があるので笛柱といわれ、これも  
無能な柱ではあるが、柱裾たまきに丸鑿たまきを打ちつけて作物の鐘を天井に吊る時、綱の端をそれに結び留  
めるようになっているので『道成寺』の時は大事な柱となります。

中でも大臣柱という名前は立派に聞こえるが、その實あまり映えない柱で、いつもその裾に坐  
っているワキがあまり映えない役目であるのとよく似ている。まずは、組織での私の役目も大臣  
柱に似ています。

## 今後のイベントスケジュール

\* 申込は『JUNO』に応募要項が掲載されてからお願いします。

ホームページ:<http://junosaitama.net/> ブログ:<http://hakutomobulog.at.webry.info/>

## <平成29年度>

- 4月22日 (土) (延期) 古道探索倶楽部「赤山街道大宮道3」北与野駅集合<今号で紹介>
- 4月23日 (日) 友の会・博物館共催講演会「エジプト発掘の魅力」 <前号で紹介 締切>  
講師：吉村作治先生（早稲田大学名誉教授）
- 5月 5日 (金) お祭り研究クラブ「府中市・大国魂神社のくらやみ祭り」 <今号で紹介>
- 5月26日 (金) まち歩き研究会「朝霞一武蔵野台地の古代・中世・近世」 <今号で紹介>
- 5月27日 (土) 博物館共催講演会「火山がつくった世界遺産・富士山」 <今号で紹介>  
講師：小山真人先生（静岡大学教授）
- 6月 3日 (土) 古道探索倶楽部「赤山街道越谷道」西新井宿駅集合

## <予定>

- 講演会 仮題「山岳信仰と歴史と民俗」（7月9日）
- 講演会 仮題「万葉集について」
- 講演会 仮題「国分寺について」

### ■埼玉県立歴史と民俗の博物館 新しい人事（平成29年4月1日より）■

- ・館からの転出者(9人) (職名)
  - (企画、学習支援担当) 主席学芸主幹
  - (学習支援担当) 学芸主幹
  - (学習支援担当) 学芸主幹
  - (資料調査・活用担当) 学芸主幹
  - (施設担当) 担当課長
  - (学習支援担当) 担当課長
  - (展示担当) 主任学芸員
  - (縦賂担当) 主任
  - (展示担当) 学芸員

- 氏名(新しい所属先)
  - 西口正純(さきたま史跡の博物館)
  - 岩田明広(県民生活部広聴広報課(平和資料館勤務))
  - 渡 政和(生涯学習文化財課(さいたま文学館勤務))
  - 中山浩彦(さきたま史跡の博物館)
  - 井上裕史(秩父県土整備事務所)
  - 刀根理恵子(上尾市立瓦葺小学校)
  - 内田幸彦(生涯学習文化財課)
  - 渡辺良一(北部致育事務所)
  - 宮原正樹(生涯学習文化財課)

- ・館への転入者(9人) (職名)
  - (総務、施設担当) 副館長
  - (展示、資料調査・活用担当) 主席学芸主幹
  - (資料調査・活用担当) 学芸主幹
  - (施設担当) 担当課長
  - (学習支援担当) 主任学芸員
  - (学習支援担当) 担当課長
  - (総務担当) 主任
  - (展示担当) 学芸員
  - (施設担当) 主任専門員

- 氏名(前の所属先)
  - 福沢 景(特別支援教育課)
  - 水口由紀子(嵐山史跡の専物館)
  - 栗島義明(県民生活部(平和資料館勤務))
  - 河村紀明(荒川左岸南部下水道事務所)
  - 服部 武(生涯学習文化財課(さいたま文学館勤務))
  - 國分隆幸(上尾市立富士見小学校)
  - 川尻浩之(小中人事課)
  - 後藤知美(生涯学習文化財課)
  - 斉藤登志雄(総合教育センター(江南支所))

- ・新採用職員(2人)
  - (企画担当) 学芸員
  - (展示担当) 学芸員

- 林 真美
- 青笹基史

### 友の会からのお知らせ

友の会の通常総会を開催します。ご参加よろしくお申し込み申し上げます

- 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会通常総会
- ・日時 平成29年(2017年)5月27日(日) 午前10時から11時(午後は講演会)
- ・場所 埼玉県立歴史と民俗の博物館講堂
- ・内容 ①28年度事業・収支報告②29年度収支予算・事業計画案③その他

### クラブ活動 今後の予定 (参加者募集)

#### ◆武蔵国国府祭 大國魂神社例大祭「くらやみ祭」(府中市)◆

5月5日(金) 友の会「日本の祭り研究クラブ」第21回見学会のお知らせ(参加自由)

≪名称≫大國魂神社例大祭「くらやみ祭」(府中市)

≪期日≫平成 29 年 (2017 年) 5 月 5 日(金)祝日 12 時 30 分～20 時 00 分:雨天決行

≪集合≫JR 武蔵野線「府中本町駅」改札出口 午後 12 時 30 分

≪費用≫交通費(電車等),保険代他 100 円

≪持物等≫歩き易い靴並びに飲物・カメラ等

大國魂神社例大祭の概略 (くらやみ祭)

・大國魂神社は、武蔵国の総社です。大國魂大神と武蔵国内主要 6 神社の祭神、御霊大神・国内諸神を祀っています。5 月の例大祭(くらやみ祭)は国府祭に由来する歴史あるお祭りです。「くらやみ祭」は、5 月 5 日の神輿渡御を中心として行われ 3～6 日まで実施。「万燈大会」山車行列や日本最大級の太鼓の競演等内容が豊富である。・武蔵国府跡(武蔵国庁・国衙など)が大國魂神社周辺で散策できます。

≪申込み≫下記の連絡先までお願い致します。

≪連絡先≫元木孝 TEL:0493-54-0401 (携帯 090-2259-1673)

★ 次回予定、平成 29 年 (2017 年) 7 月 9 日(日) 「平塚七夕まつり及び江の島天王祭神輿海上渡御」

#### ◆武蔵野台地の古代・中世・近世—朝霞市の歴史と文化◆

5月26日(金)に「まち歩き研究会」の活動です

≪主催≫埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会「まち歩き研究会」

≪日時≫平成 29 年 (2017) 5 月 26 日(金) 10 時～15 時頃 小雨の場合決行(各自で判断)

≪集合≫午前 10 時 00 分 JR 武蔵野線 北朝霞駅前

≪内容≫武蔵野台地が荒川低地と接する朝霞市地域には古代からの生活の跡が残されています。空海伝説の残る東円寺、県南地域で唯一墳丘部が現存する前方後円墳(柊塚)、中世の山城の遺構を残す「岡の城山」、江戸時代の中規模農家の屋敷、畑、雑木林を含む複合重要文化財(国指定)の高橋家など、狭い範囲に見どころが詰まっています。朝霞市博物館では宿場町の歴史や水車活用による近代化の過程も学べます。

≪行程≫北朝霞駅→東円寺→朝霞市博物館→城山公園(山城遺跡)→柊塚古墳公園(昼食休憩)→高橋家住宅(見学、説明)→市民センター(休憩)→(バス)朝霞駅→北朝霞駅(解散) 徒歩は約 2 時間、階段やや多し。

≪その他≫交通費(各自)、資料代 300 円程度。お弁当も各自ご用意ください。

≪申込・問合せ≫①FAX:048-470-2758 ②Eメール(筑井):pu8n-tki@asahi-net.or.jp

③「ホームページ」の「申込フォーム」より送信フォームで。

#### ◆第18回鎌倉街道を訪ねて 赤山街道大宮道 3◆

4月22日(土)に「古道探索倶楽部」の街道歩き(4/1の延期企画です)

≪主催≫埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会「古道探索倶楽部」

≪日時≫平成 29 年 (2017) 4 月 22 日(土) 9 時 30 分～15 時 30 (予定)

≪集合≫JR 埼京線北与野駅改札口付近(9:30)

≪コース≫JR 埼京線北与野駅 →赤山橋 →正圓寺 →御屋敷山跡 →日枝神社 →側ヶ谷戸古墳群 →慈眼寺 →金山神社 →永田陣屋跡 →高城寺 →JR 川越線指扇駅

≪費用≫資料代等 300 円

≪その他≫少雨決行(悪天候時には、連絡します)。歩行距離は約 10km で、史跡巡りをいれると約 12km です。歩きやすい服装・靴でご参加ください。歩きやすい服装・靴でご参加ください。途中にコンビニが少ないので、お弁当と飲物は必ず事前に御用意願います。保険に加入しております。体調が悪くなった方は、倶楽部員まで連絡してください。

≪申込≫4月19日(水)までに、はがきに氏名・住所・会員番号・電話番号(ご自宅・携帯とも)を明記して、〒339-0058 さいたま市岩槻区本丸3-8-17 犬走東道あて。

≪問合せ≫前日まで犬走(いぬばしり)電話 048-756-5634 当日は 小俣(おまた)携帯 090-3436-9017

# 火山がつくった

## 世界遺産・富士山



古来より日本のシンボルとして親しまれた富士山が、世界文化遺産に指定されました。富士山は、日本の歴史と文化に関わる多くの構成資産を含みますが、考える出発点にしたのは景観をつくる自然を理解し、保護についてどう考えるべきかという視点です。

今回は、日本列島の真中であって地球上の特異点とも言える素晴らしさをもつ富士山の秘密を、その研究の第一人者に先ず解きほぐしていただきます。また、自然の猛威とも言える災害史の代表例として、宝永の大噴火は近世の関東にも大きな影響を与えました。過去の災害から、今後の噴火リスクや火山防災対策にも触れていただきます。

講師は、火山と地震史の専門家として、富士山を中心に研究される一方、地震・火山に対する防災についても追及してこられました。富士山への「道案内」をお願いします。

**講師** 小山 真人 先生 (静岡大学 教授)

**日時** 平成29年5月27日(土) 午後1時半～3時

**場所** 当館講堂 (東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅徒歩5分)

**参加費** 300円 当日は返信ハガキをお持ち下さい

ご参加のお申込みは、往復ハガキに イベント名・住所・氏名・電話番号・会員の方は会員番号を明記、返信面にも住所・氏名を記入の上、下記宛先まで。

〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219 埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会  
締切5月20日(土)。定員(150名)を超えた場合はお断りすることもあります。

埼玉県立歴史と民俗の博物館友の会